

ギャンブル等依存症対策の強化について【概要】(案)

資料1

課題	対策の具体化
事業者の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>各公営競技ごとに設置する相談窓口について、全競走場のウェブサイト等に掲載(8月)</li> <li>注意喚起ポスターの掲載やチラシ等の配布による相談窓口の周知(4月～)</li> <li>全主催者等に依存症対策担当を配置、相談対応マニュアル等を作成、従業員教育を順次実施(4月～)【公営競技】</li> <li>幅広いギャンブル等依存症に専門的に対応できる「一般財団法人ギャンブル依存症予防回復支援センター」を、モーターボート競走関係団体において設立(6月)、24時間無料電話相談体制の構築(10月自決)。</li> <li>今後、更に関係省庁間で連携し、適切な体制を構築【公営競技】</li> </ul>
一元化・専門的に対応できる共通相談窓口の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>RSNの周知のため、営業所の広告に相談窓口を掲載(4月～)、リーフレットをばちんこ営業所に配置(7月～)し、業界団体と営業所が連携し、情報発信を強化</li> <li>相談員の増員、相談時間の延長、専門医等の紹介等【ばちんこ】</li> </ul>
リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)の相談体制の強化・機能拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター、ウェブサイト等に注意喚起標語を掲載(4月～)【公営競技】</li> <li>競馬・馬券は20歳になってから、ほどよく楽しむ大人の遊び</li> <li>競輪・車券の購入は20歳になってから、競輪は適度に楽しませよう</li> <li>オートレース・車券の購入は20歳になってから、オートレースは適度に楽しませよう</li> <li>モーターボート競走・舟券の購入は20歳以上の方に楽しんでいただけます。無理のない資金で、余裕を持ってお楽しみください。</li> <li>統一した未成年対応要領の作成。警備員等に対する教育・指導の徹底による警備態勢の強化(6月～)【公営競技】</li> <li>年齢確認シートの活用による賞品提供時の年齢確認(5月～)【ばちんこ】</li> </ul>
未成年者等の購入禁止に係る注意喚起・警備の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドライン等を作成し、競走場・場外券売場において本人申告によるアクセス制限の運用を開始(4月～)【公営競技】</li> <li>本人申告によるアクセス制限の仕組みを拡充・普及(4月～)(5か月で導入店舗数が3倍強に増加)【ばちんこ】</li> <li>家族申告によるアクセス制限の仕組みの構築【公営競技・ばちんこ】</li> </ul>
本人・家族申告によるアクセス制限の仕組みの導入、拡充・普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット投票サイトにおける注意喚起・相談窓口の案内</li> <li>購入限度額の設定を可能とするシステムの整備</li> <li>インターネット投票において購入限度額を設定できるシステムを、次期システム改修に併せて構築【公営競技】</li> <li>本人申告による解約等がなされた場合、一定期間は再契約等の申請を受け付けず、アクセス制限措置を継続する仕組みを構築</li> <li>家族申告によるアクセス制限の仕組みの構築(再掲)【公営競技】</li> <li>ポスターやテレビCM、新聞・雑誌広告、HP、インターネット投票サイト等に注意喚起標語を掲載(4月～)</li> <li>ギャンブル等依存症に係るリーフレットやポスターを作成、競走場等に掲示・配布(本年度～)【公営競技】</li> </ul>
インターネット投票サイトにおける注意喚起・相談窓口の案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット投票において購入限度額を設定できるシステムを、次期システム改修に併せて構築【公営競技】</li> <li>本人申告による解約等がなされた場合、一定期間は再契約等の申請を受け付けず、アクセス制限措置を継続する仕組みを構築</li> <li>家族申告によるアクセス制限の仕組みの構築(再掲)【公営競技】</li> <li>ポスターやテレビCM、新聞・雑誌広告、HP、インターネット投票サイト等に注意喚起標語を掲載(4月～)</li> <li>ギャンブル等依存症に係るリーフレットやポスターを作成、競走場等に掲示・配布(本年度～)【公営競技】</li> </ul>
購入限度額の設定を可能とするシステムの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット投票において購入限度額を設定できるシステムを、次期システム改修に併せて構築【公営競技】</li> <li>本人申告による解約等がなされた場合、一定期間は再契約等の申請を受け付けず、アクセス制限措置を継続する仕組みを構築</li> <li>家族申告によるアクセス制限の仕組みの構築(再掲)【公営競技】</li> <li>ポスターやテレビCM、新聞・雑誌広告、HP、インターネット投票サイト等に注意喚起標語を掲載(4月～)</li> <li>ギャンブル等依存症に係るリーフレットやポスターを作成、競走場等に掲示・配布(本年度～)【公営競技】</li> </ul>
本人・家族申告によるアクセス制限の仕組みの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>出玉規制の強化等の見直し</li> <li>出玉規制の強化等のため、風営法施行規則・遊技機規則を改正(8月)【ばちんこ】</li> <li>出玉情報等を容易に監視できる遊技機の開発・導入のため、遊技機規則を改正(8月)【ばちんこ】</li> <li>ATMのキャッシング機能の廃止又はATMの撤去(本年度自決)【公営競技】</li> <li>営業所の管理者の業務として依存症対策を義務付けるため、風営法施行規則を改正(8月)【ばちんこ】</li> <li>業界の取組について評価・提言を行う第三者機関の設置【ばちんこ】</li> <li>「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」を新設。全営業所への配置を目指して取組を推進(4月～)【ばちんこ】</li> </ul>
インターネット投票サイトにおける注意喚起・相談窓口の案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症に関する全国調査を9月中を目途に取りまとめ、今後も継続的に実施を把握【厚】</li> <li>全都道府県・政令市における専門医療機関・治療拠点・相談拠点の整備及び依存症相談員の配置を推進(4月～)</li> <li>依存症対策全国拠点機関を指定(4月)</li> <li>地域の治療実施指導者・相談支援指導者の養成研修等の実施【厚・総】</li> <li>専門的な医療の確立に向けた研究の推進とそれに対応する診療報酬での評価が課題となっていることを踏まえ、標準的な治療プログラムの開発やエビデンスを構築(本年度～)【厚】</li> <li>地域の生活支援指導者や障害福祉サービス等従事者への養成研修、ポータルサイトの開設、リーフレットの作成等による普及啓発を実施(4月～)【厚】</li> <li>「医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)」に、ギャンブル等依存症を学修目標として明記(3月末)、医学部関係者に周知・要請(5・6月)</li> <li>保健師・看護師・精神保健福祉士・社会福祉士・公認心理師がギャンブル等依存症に適切に対応できるよう、養成カリキュラム等を見直し(本年度～)【文・厚】</li> <li>DVDや啓発動画の作成、リーフレットの配布等(本年度～)【厚】</li> <li>自助グループ(ギャンブラーズ・アノニマスやギヤマン)を含む民間団体が行うミーティング、普及啓発、相談等の活動を支援(4月～)【厚】</li> <li>依存症について取り上げる高等学校学習指導要領解説の作成に着手(本年度～)【文】</li> <li>中・高・大学生向け啓発資料の作成【文】</li> <li>関係機関間で、連絡先リストや対応マニュアルの作成・共有等により、連携体制を構築(本年度中)</li> <li>多重債務者相談員や消費生活相談員への研修や相談対応マニュアルの整備により、相談員のギャンブル等依存症に関する理解・知識を向上(本年度～)【金・消】</li> <li>貸金業、銀行業における貸付自粛制度の整備【金】</li> </ul>
ギャンブル等依存症の実態把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症に関する全国調査を9月中を目途に取りまとめ、今後も継続的に実施を把握【厚】</li> <li>全都道府県・政令市における専門医療機関・治療拠点・相談拠点の整備及び依存症相談員の配置を推進(4月～)</li> <li>依存症対策全国拠点機関を指定(4月)</li> <li>地域の治療実施指導者・相談支援指導者の養成研修等の実施【厚・総】</li> <li>専門的な医療の確立に向けた研究の推進とそれに対応する診療報酬での評価が課題となっていることを踏まえ、標準的な治療プログラムの開発やエビデンスを構築(本年度～)【厚】</li> <li>地域の生活支援指導者や障害福祉サービス等従事者への養成研修、ポータルサイトの開設、リーフレットの作成等による普及啓発を実施(4月～)【厚】</li> <li>「医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)」に、ギャンブル等依存症を学修目標として明記(3月末)、医学部関係者に周知・要請(5・6月)</li> <li>保健師・看護師・精神保健福祉士・社会福祉士・公認心理師がギャンブル等依存症に適切に対応できるよう、養成カリキュラム等を見直し(本年度～)【文・厚】</li> <li>DVDや啓発動画の作成、リーフレットの配布等(本年度～)【厚】</li> <li>自助グループ(ギャンブラーズ・アノニマスやギヤマン)を含む民間団体が行うミーティング、普及啓発、相談等の活動を支援(4月～)【厚】</li> <li>依存症について取り上げる高等学校学習指導要領解説の作成に着手(本年度～)【文】</li> <li>中・高・大学生向け啓発資料の作成【文】</li> <li>関係機関間で、連絡先リストや対応マニュアルの作成・共有等により、連携体制を構築(本年度中)</li> <li>多重債務者相談員や消費生活相談員への研修や相談対応マニュアルの整備により、相談員のギャンブル等依存症に関する理解・知識を向上(本年度～)【金・消】</li> <li>貸金業、銀行業における貸付自粛制度の整備【金】</li> </ul>
ギャンブル等依存症患者の治療・相談に対応できる体制が不十分	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症に関する全国調査を9月中を目途に取りまとめ、今後も継続的に実施を把握【厚】</li> <li>全都道府県・政令市における専門医療機関・治療拠点・相談拠点の整備及び依存症相談員の配置を推進(4月～)</li> <li>依存症対策全国拠点機関を指定(4月)</li> <li>地域の治療実施指導者・相談支援指導者の養成研修等の実施【厚・総】</li> <li>専門的な医療の確立に向けた研究の推進とそれに対応する診療報酬での評価が課題となっていることを踏まえ、標準的な治療プログラムの開発やエビデンスを構築(本年度～)【厚】</li> <li>地域の生活支援指導者や障害福祉サービス等従事者への養成研修、ポータルサイトの開設、リーフレットの作成等による普及啓発を実施(4月～)【厚】</li> <li>「医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)」に、ギャンブル等依存症を学修目標として明記(3月末)、医学部関係者に周知・要請(5・6月)</li> <li>保健師・看護師・精神保健福祉士・社会福祉士・公認心理師がギャンブル等依存症に適切に対応できるよう、養成カリキュラム等を見直し(本年度～)【文・厚】</li> <li>DVDや啓発動画の作成、リーフレットの配布等(本年度～)【厚】</li> <li>自助グループ(ギャンブラーズ・アノニマスやギヤマン)を含む民間団体が行うミーティング、普及啓発、相談等の活動を支援(4月～)【厚】</li> <li>依存症について取り上げる高等学校学習指導要領解説の作成に着手(本年度～)【文】</li> <li>中・高・大学生向け啓発資料の作成【文】</li> <li>関係機関間で、連絡先リストや対応マニュアルの作成・共有等により、連携体制を構築(本年度中)</li> <li>多重債務者相談員や消費生活相談員への研修や相談対応マニュアルの整備により、相談員のギャンブル等依存症に関する理解・知識を向上(本年度～)【金・消】</li> <li>貸金業、銀行業における貸付自粛制度の整備【金】</li> </ul>
専門的な医療の確立・普及及び適切な診療報酬での評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> </ul>
障害福祉サービス等従事者のギャンブル等依存症に関する知識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> </ul>
医学教育や医師臨床研修等におけるギャンブル等依存症に対応できる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> </ul>
ギャンブル等依存症に関する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> </ul>
自助グループ等、民間団体の活動への支援の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> </ul>
学校教育における対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> </ul>
中高・大学生向けの啓発の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> </ul>
消費生活センター、多重債務相談窓口等と精神保健福祉センター等との連携。相談員のギャンブル等依存症に関する知識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> </ul>
貸金業、銀行業における対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> <li>ギャンブル等依存症に関する調査</li> </ul>

【公営競技】競馬、競輪、オートレース、モーターボート競走、【ばちんこ】【厚】厚生労働省、【文】文科省、【金】金融庁、【消】消費者庁、【総】総務省

ギャンブル等依存症対策の強化(平成29年中)

資料1

<p><b>相談対応体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての公営競技主催者等に依存症対策担当を配置(0→164箇所<sup>※</sup>)(4月～) <ul style="list-style-type: none"> <li>※JRA、全地方競馬主催者、全競輪・オートレース施行者、全モーターボート競走場等に配置</li> </ul> </li> <li>相談対応マニュアルを作成、従業員教育を開始(4月～)</li> <li>「ギャンブル依存症予防回復支援センター」を設立(6月)、年中無休24時間無料電話相談体制を構築(10月)</li> <li>「リカバリーサポート・ネットワーク」における相談時間の延長(16時～22時。11月～)、精神保健福祉士、司法書士等による対面無料相談会の開催(週一回。10月～)</li> </ul>
<p><b>アクセス制限</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての競走場・場外券売場において「本人申告によるアクセス制限」の運用を開始(4月～) <ul style="list-style-type: none"> <li>(申告受付窓口:0→305箇所<sup>※</sup>) ※全競走場・場外券売場、ネット投票等で受付</li> </ul> </li> <li>ばちんこ営業所における「本人申告によるアクセス制限」の仕組みを拡充・普及(4月～) <ul style="list-style-type: none"> <li>(導入店舗数が約4倍に増加(452→1,855店舗))</li> </ul> </li> <li>「家族申告によるアクセス制限」の仕組みの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>(中央競馬・ばちんこは、12月から一部運用開始。その他競技も順次実施)</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>インターネット投票における取組の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全てのインターネット投票サイトにおいて注意喚起・相談窓口の案内を掲載(4月～) <ul style="list-style-type: none"> <li>(ポスター、リーフレットにおいても、注意喚起・普及啓発を実施)</li> </ul> </li> <li>購入限度額を設定できるシステムの構築を決定(8月)</li> <li>「家族申告によるアクセス制限」の仕組みの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>(中央競馬(12月)、その他競技(30年度)で運用開始)</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>遊技機の射幸性の抑制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出玉規制の基準等の見直し(国家公安委員会規則の改正(8月)。来年2月施行)</li> <li>出玉情報等を容易に監視できる遊技機の開発の着手 <ul style="list-style-type: none"> <li>(国家公安委員会規則の改正(8月)。来年2月施行)</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>競走場・場外券売場のATMのキャッシング機能の廃止(57→14箇所 ※本年度内に全て廃止予定)</li> <li>ばちんこ営業所の管理者の業務として、依存防止対策を義務付け <ul style="list-style-type: none"> <li>(国家公安委員会規則の改正(8月)。来年2月施行)</li> </ul> </li> <li>「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」を営業所に配置(12月) <ul style="list-style-type: none"> <li>(アドバイザー講習修了者:0人→約16,000人)</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>実態把握のための全国調査を実施(9月公表)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門医療機関・治療拠点・相談拠点の整備(4月) <ul style="list-style-type: none"> <li>(モデル事業5自治体→全国67の都道府県・政令市を対象)</li> </ul> </li> <li>全国拠点機関を整備(久里浜医療センターを指定)(4月)</li> <li>医師等の人材育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>(医学教育モデル・コア・カリキュラムに学修目標として明記(3月))</li> <li>(保健師・看護師の国家試験の出題基準に依存症対策を追加(3月))</li> </ul> </li> <li>民間団体支援事業の創設(4月～) <ul style="list-style-type: none"> <li>(自助グループ(ギャンブラーズ・アノニマスやギヤマン)を含む民間団体が行うミーティング、普及啓発等の活動を支援)</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>ギャンブル等依存症について、高等学校学習指導要領解説へ記載する方針を決定(8月)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活センター、多重債務相談窓口等における相談体制の強化(4月～)</li> <li>貸金業・銀行業における貸付自粛制度の整備(全銀協による基本方針の策定(12月))(30年度実施)</li> </ul>

競技施行者・事業者の取組

医療・回復支援

学校教育・消費者行政